

令和7年度 第1回豊山町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会

1 開催日時 令和8年2月19日(木) 午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 保健センター 研修室

3 委員

(1) 出席者 8名

後藤・水野法律事務所 弁護士	水野 明美
愛知県西枇杷島警察署生活安全課課長	高松 宏文
愛知県清須保健所主査	長谷 麻衣子
豊山町ケアマネ会 会長	中西 ひとみ
尾張中部福祉の杜 施設長	古田 学
豊山町民生委員協議会	小出 真由美
豊山町成年後見センター	松崎 幸子
豊山町社会福祉協議会	西川 やよい

4 事務局

(1) 出席者 5名

豊山町生活福祉部福祉課長	四浦 かおり
豊山町生活福祉部福祉課福祉グループ	栗原 卓郎
豊山町生活福祉部保険課長兼地域包括支援センター所長	栗山 直樹
豊山町生活福祉部保険課介護グループ主事	杉原 果歩
豊山町生活福祉部保険課地域包括支援センター主任	水野 美里

5 議題

- (1) 高齢者虐待の防止対策に関する事
- (2) 障害者虐待の防止対策に関する事

6 議事内容(要点筆記)

【会長】

これより、会議を始めます。それでは、会長代理の指名を行います。設置要綱第4条第3項に基づき、会長代理には、古田委員を指名いたします。次に議事録署名委員の指名ですが、本日の会議の署名委員につきましては、中西委員と西川委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、次第3議題(1)「高齢者虐待の防止対策に関する事」について事務局からの説明を求めます。

【事務局】

議題(1)「高齢者虐待の防止対策に関する事」について、会議資料に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明のうち「高齢者の虐待対応状況」についてご質問・ご意見のある方は挙手をお願いします。

【委員】

警察からの通報件数が増加傾向であることについて説明します。前提として、警察は身内のトラブルにも踏み込んで対応しています。エスカレートしたり再発することを防止するためにも、認知した以上は対応しています。高齢夫婦や子世代とのトラブルも含めて積極的に対応するようにしています。関係機関と共有して再発防止を図っています。

【委員】

身体的虐待に対して積極的なのでしょうか。

【委員】

一番は身体的虐待です。身なりや生活状況等を聞き取りしながら現場から得られる情報で判断し、その他の虐待も見られる事案であれば通報を検討します。

【会長】

その他、高齢者の虐待対応状況についてご質問ありますでしょうか。続きまして、「高齢者虐待対応事例」についてご質問・ご意見のある方は挙手をお願いします。聞き取りのポイントや対応についてご助言等、いかがでしょうか。

【委員】

虐待の種類によって、ポイントは違ってくると思います。経済的虐待で言うと、民法の関係で踏み込みづらいところはある、どこまでできるかは難しいと思います。後見の申立てが始まっているのであれば、家族の意思を尊重し、その申し立ての中で支援をしてほしいという申し出があれば、後見センターへの相談を助言すると良いと思います。また、後見人の候補者を探す協力を求められるケースであれば、受任調整会議が後見センターにありますので、町のサポート体制として紹介すると良いと思います。

【委員】

身体的虐待は警察の協力も必要であると思います。

【会長】

その他、質問ありますでしょうか。ご質問・ご意見ありがとうございました。次の議題に移りたいと思います。

議題(2)「障害者虐待の防止対策に関する事」について事務局からの説明を求めます。

【事務局】

議題(2)「障害者虐待の防止対策に関する事」について、会議資料に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明のうち「障害者の虐待対応状況」についてご質問・ご意見のある方は挙手をお願いします。

【委員】

警察からの通報の件数が増えたのは、高齢者と同じように警察が対応されている結果だと思いますが、通報内容などはわかりますか。

【事務局】

町の事例ですと身体的虐待での通報です。軽度のものから重度のものまであります。

【委員】

令和7年度の通報相談件数9件のうち、虐待として判断した1件はどこからの通報ですか。

【事務局】

警察からの通報です。

【委員】

障害者の虐待についても高齢者と同じように、通報を受けた場合必要と思えば積極的に通報するというのでしょうか。

【委員】

そうです。対応する事案としては、身体障害の方より、精神障害の方が多い印象があります。現場での聞き取りなどからの情報をもとに積極的に対応しています。

【会長】

その他、「障害者の虐待対応状況について」ご質問ありますでしょうか。続きまして、「障害者虐待対応事例」についてご質問・ご意見のある方は挙手をお願いします。

【委員】

虐待かどうかという判断より、不適切な行為ととらえると良いと思います。そして対応として良かったのか、どうしたら良かったのかと考えてもらうようにする。大事なことは、同じことがまた起こらないようにするということです。そこに焦点をあてて、話し合いをもっていくということを投げかけていくことが再発防止には良いと思います。

【委員】

虐待の話の中で、正座の話は昔からよくあります。現在は、正座自体が体罰にあたるという考えが出ています。正座をするということがすべて間違っているということではなく、教育的指導としての正座もあります。子供と教育者側も一緒に正座して、子供と向き合って同じ立場になって説得させるため、教えるための正座は教育的指導という見方もあります。

【会長】

ご質問・ご意見ありがとうございました。続きまして、次第4「その他」に移ります。委員の皆様からは、その他に何かございます。特にないようですので、事務局からは何かございますか。

【事務局】

本日は、多くのご意見やご助言をありがとうございました。虐待対応をしていますと、早期発見・早期対応することがとても重要であると感じています。そのため、町民さんが介護のことや認知症のことを相談しやすい環境整備も大切であると考えており、今年度は、認知症カフェを役場以外に3箇所の施設で、合計8回開催、また家族介護者向けのセミナーを年4回開催し、気軽に相談ができる場を整備しました。次年度も、認知症カフェや家族介護者向けのセミナーを継続して開催する予定をしております。相談しやすい環境づくりと合わせて、虐待防止の啓発も行って行きたいと思っています。委員の皆様もご協力のほどよろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。本日予定しておりました次第につきましては全て終了しました。これをもちまして第1回豊山町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。

上記のとおり、令和8年2月19日（水）開催の豊山町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2名が署名する。

令和8年3月 日

会 長 水野 明美

署名委員 中西 ひとみ

署名委員 西川 やよい